

和食の料理教室

ママの手料理 年末年始にもう2品

- ▼とき 12月7日(木)、午前10時～午後1時
 - ▼ところ 千年交流センター(原ヶ平5丁目)
 - ▼講師 福士博丈さん(青森ワイナリーホテル)
 - ▼定員 16人(先着順)
 - ▼参加料 1,000円
 - ▼持ち物 エプロン、三角巾
- ☎11月5日(日)～19日(日)に、電話で千年交流センター(☎87-5519、月曜日は休館)へ。

農家の「かっちゃん」の漬物教室

- ▼とき 12月8日(金)、午前10時～正午
 - ▼ところ 清水交流センター(大開2丁目)
 - ▼内容 高菜の葉くるみと大根のしょうゆ漬
 - ▼定員 20人(先着順)
 - ▼参加料 1,300円
 - ▼持ち物 エプロン、三角巾、ふきん2～3枚
- ☎11月5日(日)～12日(日)に、電話で清水交流センター(☎87-6611、月曜日は休館)へ。

“津軽の味っこ” 伝承料理講習会

- ▼とき 12月19日(火)、午前9時30分～午後1時
 - ▼ところ 清水交流センター(大開2丁目)
 - ▼内容 いなりずし、高菜のかす汁、ふきと身欠きニシンの煮付け、イカのごろ味噌和え、赤かぶの千枚漬
 - ▼募集人数 20人程度
 - ▼参加料 2,000円(当日徴収)
 - ▼持ち物 エプロン、三角巾、マスク
 - ▼申し込み方法 11月24日(金・必着)までに、往復はがき(住所・氏名・年代・電話番号を記入)で、弘前地区生活改善グループ連絡協議会(会長・清野優美子さん、〒036-8265、下湯口字青柳64の1)へ申し込みを。
- ※応募多数の場合は抽選で決定し、結果を11月29日(水)以降に通知します。
☎中南部地域県民局地域農林水産部農業普及振興室(☎33-4821)

11月 図書館休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1 租	2	3	4
5	6 岩	7	8 租	9	10	11
12	13 岩	14	15 租	16 弘二	17	18
19	20 岩	21	22 租	23	24	25
26	27 岩	28	29 租	30		

- ※変更となる場合があります。
- ☎弘前図書館(下白銀町) ☎32-3794
 - ☎岩木図書館(賀田1丁目) ☎82-1651
 - ☎こども絵本の森(ヒロロく駅前町)3階 ☎35-0155
 - ☎相馬ライブラリー(相馬やすらぎ館(五所字野沢)内) ☎84-2316

北の文脈文学講座

- 近年寄贈を受けた長部日出雄の原稿・遺品などを紹介します。
- ▼とき 12月16日(土)、午後2時～3時
 - ▼ところ 郷土文学館(下白銀町)2階ラウンジ
 - ▼講師 櫛引洋一さん(郷土文学館企画研究専門員)
 - ▼定員 20人(先着順)
 - ▼参加料 無料(ただし観覧料が必要)
 - ▼観覧料 高校生以上=100円/小・中学生=50円
- ※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢・住所を確認できるものの提示を。
- ▼申し込み方法 11月16日(木)以降に、電話か直接窓口で

- 申し込みを。
- ☎郷土文学館(☎37-5505、午前9時～午後5時)
- ※あおもり県民カレッジ単位認定講座。

しめ縄飾りデコレーション体験

- ▼とき 12月16日(土)、午後1時～3時
 - ▼ところ 裾野地区体育文化交流センター(十面沢字轡)
 - ▼講師 坂本小雪さん(サトウ商事)
 - ▼定員 20人(先着順)
 - ※小学生以下は保護者同伴。
 - ▼参加料 1,250円
 - ※2個目以降は1個1,000円/一人で複数個を作成可。
 - ▼持ち物 軍手
- ☎11月30日(木)までに、裾野地区体育文化交流センター(☎99-7072、月曜日は休館)へ。

その他

ヒロロ総合行政窓口 戸籍証明書の発行休止

11月18日(土)・19日(日)は、戸籍システムの改修作業のため、ヒロロ総合行政窓口での戸籍証明書(謄抄本など)の発行を休止します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、住民票発行や印鑑登録などの業務は通常通り行います。

☎市民課(☎35-1113)、ヒロロ総合行政窓口(駅前町、ヒロロ3階、☎31-0260)

防災行政無線の試験放送

地震や武力攻撃などの発生に備え、情報伝達試験を全国一斉に行います。当市では防災行政無線から試験放送が流れます。※今年度は計4回の試験が予定されており、今回は3回目です。

- ▼とき 11月15日(水)、午前11時ごろ
- ※気象状況等によって中止することがあります
- ▼その他 防災行政無線の内容を確認する際は、テレホンサービス(☎40-7110)〈サービス料無料、ただし通話料が必

要)をご活用ください/防災行政無線アプリからは放送されません。

☎防災課(☎40-7100)

農作物や庭木の果実の収穫徹底のお願い



農地や街なかで、カラスによる被害が深刻となっています。カラスは自然界に食べ物が少なくなる冬季に多く餓死するといわれています。しかし、農作物の取り残しや庭木の果実などを放置することで、カラスへの餌付けとなり、カラスの個体数を減らすことができません。カラスの個体数や被害を減らすため、畑に放置された規格外の農作物は土中に埋める、木に残っている果実などは可能な限り残さず処理するなど、ご協力をお願いします。

☎環境課環境保全係(☎36-0677)

鳥インフルエンザの発生を防止しましょう



鳥インフルエンザウイルスは渡り鳥によって海外から持ち込まれると考えられています。野鳥の渡りが始まる秋から北へ帰る春までの時期は、次のことに注意してください。

【家きん(※)を飼っている場合】

- ①渡り鳥や野鳥、ねずみなどの野生動物との接触を避けるため、野外で放し飼いをしない。飼育小屋は防鳥ネット(2cm角以下)で囲う。定期的に防鳥ネットの点検を行い、破損箇所はただちに修繕する。
 - ②飼育小屋を定期的に消毒し、清潔な状態で飼育する。
 - ③世話をする時は専用の履物、衣服を身に付け、終了後は履物、衣類、手指を消毒する。車両は農場の出入り口で入念に消毒を。
 - ④家きんに異状がみられた場合は、すぐにつがる家畜保健衛生所に連絡を。
- (※)家きん…鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ホロホロ鳥、七面鳥

- 【死亡した野鳥を見つけた場合】
- ①野鳥は鳥インフルエンザウイルス以外にもさまざまな細菌や寄生虫を持っていることがあるため、手袋などで処理し、素手で触らないようにする。
 - ②多数の野鳥がまとまって死亡している場合は、中南部地域県民局林業振興課または弘前市農政課に相談を。
 - ③②以外の場合で死亡した野鳥を処理する際は、ビニール袋に入れ一般ごみとして処分する。
- ☎西北地域県民局つがる家畜保健衛生所(☎0173-42-2276)、中南部地域県民局林業振興課(☎33-3857)、弘前市農政課(☎40-0504)



家庭で不用になったパソコンを宅配便で無料回収します

☎環境課(☎35-1130)

市では、小型家電リサイクル法の認定業者であるリネットジャパンリサイクルと協定を締結し、家庭で不用になったパソコンを宅配便で無料回収し、リサイクルを進めています。

▼回収方法

- ①電話(☎0570-085-800)またはQRコードからリネットジャパンに申し込む
- ②不用なパソコンをダンボールに詰める
- ③宅配業者(佐川急便)が希望日時に回収

リネットジャパン 検索
http://www.renet.jp

